

事業報告

平成29年度 教育事業

タイニーキャンプ③

平成30年2月17日(土)～18日(日)

【対象】小学生(低学年)

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

小学校低学年の子どもたちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して自分に自信をつけ、協調性を育むきっかけづくりとする。

～主催・後援団体～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

後援：伊那市教育委員会

～活動日程～

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1 日 目	10:30～ 受付 11:20～ 開会式					開 会 式	昼 食	活 動 準 備	”自然の中で遊ぼう” ～雪の体験活動～ 「雪だるまづくり」 「そりすべり」			夕 食	夕 食	入 浴	絵 本 読 み 聞 かせ	就 寝 準 備	就 寝
2 日 目	起 床	朝 の つ ど い	朝 食	清 掃	”みんなで作ろう！ みんなで食べよう！” 「芋煮作り」 「おにぎり作り」 「フルーツポンチ作り」			閉 会 式	13:20～ 閉会式 13:50 解散								

～参加者～

小学1・2年生 計38名（長野県：35名，山梨県：3名）

～活動トピックス～

活動Ⅰ 「自然の中で遊ぼう」

～雪の体験活動～

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

ぼうけんの森と常設テントサイトエリア、そりコースを使い、身体を思いっきり動かしながら雪に親しんだ。

子ども達は皆、雪玉を転がしながら大きな雪だるまをつくったり、そりコース全面を使ってそりすべりに親しんだりした。森の中に子ども達の歓声が響き渡った。



活動Ⅱ 「絵本の読み聞かせ」 講師：ボランティア



各活動班毎、担当ボランティアが絵本の読み聞かせを行った。子ども達が好きな絵本を数冊選び、各宿泊棟で静かに読み聞かせた。子ども達は皆目を輝かせながら聞き入り、絵本の世界に魅せられていた。

活動Ⅲ 調理活動「芋煮・おにぎり・フルーツポンチ作り」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員，ボランティア

本館内の天竜で「芋煮」と「おにぎり」，「フルーツポンチ」を作った。子ども達は里芋や野菜の皮をむいたり，こんにゃくやきのこをちぎったり，缶切りを使ったり，おにぎりをにぎったりしながら一生懸命調理に取り組んだ。



～参加者の声～

《参加児童》

- はじめて会った友だちと仲良くなれたし，たくさん遊べて本当に楽しかった。またタイニーキャンプに来たい。
- そりがすごく楽しかった。ボランティアのお兄さんお姉さんといっぱいすべった。
- 芋煮とフルーツポンチがとてもおいしかった。おかわりをして食べた。ボランティアのお兄さんとお姉さんがとっても優しくかった。ここに住みたいと思った。

《ボランティア》

- 初めてタイニーキャンプに参加した。低学年の子ども達と実際に触れ合うことで，彼らの発達段階について理解することができた。低学年の子ども達がどんなことを話し，我々ボランティアがどう子ども達とかかわれば良いかを知ることができてとても有意義だった。
- 子ども達の気持ちの変化や成長を間近で見られたことが本当にためになった。子ども達を褒めるたび，彼らが自分で動こうと成長していく姿が見られ，とても感動した。
- 子どもの自主性を育てるためには，子どもの自己肯定感を高める必要があるということ学ばせていただいた。

～成果と課題～

- 当事業は大変知名度が高く，参加を熱望する方が大勢おられる。今後もできるだけ大勢の子ども達に参加してもらえるよう，内容を工夫しながら事業の充実を図っていきたい。
- 降雪量は少なめだったものの，全職員の力でそりコースへ雪を入れたり，活動場所の雪を確保したりしたことで，充実した雪の体験活動を実施することができた。今後も冬のタイニーキャンプでは，やはり雪に関する体験活動を重視する方向を継続していきたい。
- この時期はインフルエンザが蔓延する時期であり，予想どおり参加者と学生ボランティアのキャンセルが数件出た。次年度以降もそれを見越して参加者とボランティアの人数を確保していきたい。